３　歯の健康

（%）

推進目標項目	前回	目標	今回	判定
過去１年間に歯科健診を受診した人の割合◆	45.2	50.0	47.3	B
歯間清掃用具を使用する人の割合◆	35.2	50.0	48.0	B
むし歯のある３歳児の割合	15.0	14.0	11.5	A
歯周病検診の受診率	1.8	10.0	11.3	A

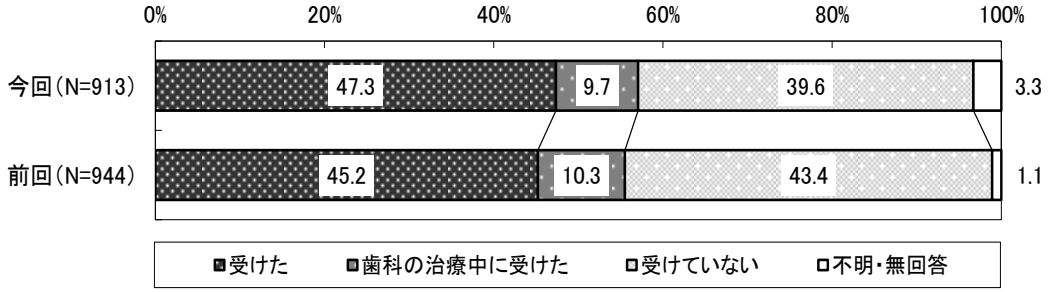
※「◆」は市民アンケート調査の結果による数値

（１）　現状

①　過去1年間に歯科健診を受診した人の割合が高くなっています。

「受けた」人の割合が2.1ポイント高くなっています。計画の目標値である「受けた」人の割合50%には達していません。

過去1年間に歯科健診を受診しましたか



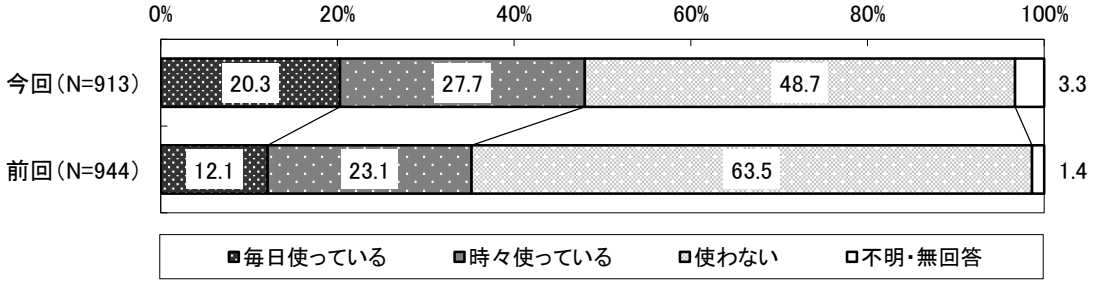
（資料　市民アンケート調査）

②　歯間清掃用具を使用する人の割合が高くなっています。

「毎日使っている」、「時々使っている」人の割合は、12.8ポイント高くなっています。

しかし、計画の目標値である「毎日使っている」「時々使っている」人の合計の割合50%には達していません。

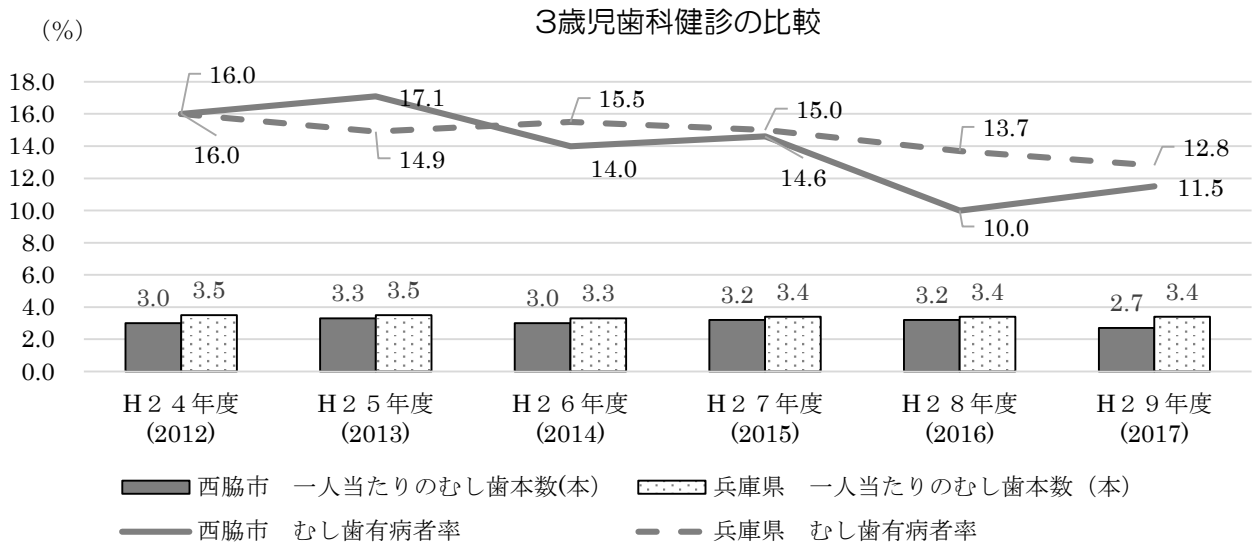
歯ブラシ以外の歯間清掃用具を使用していますか



（資料　市民アンケート調査）

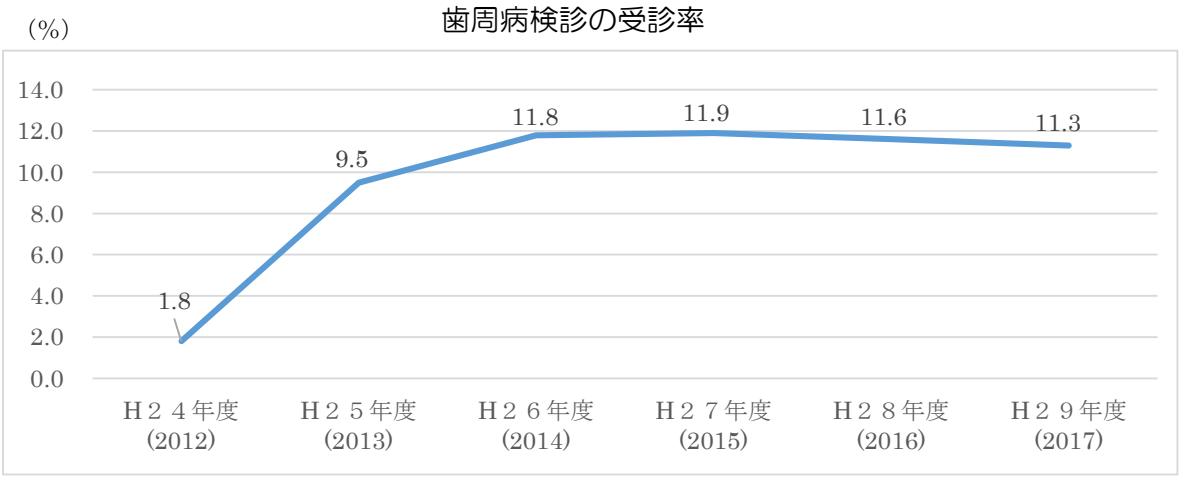
③　むし歯のある子どもの割合が低くなっています。

むし歯のある3歳児は、兵庫県の平均値に比べても低下しています。しかし、一人当たりのむし歯の本数は横ばい状況にあります。



（資料　乳幼児健康診査にかかる実績報告）

④　歯周病検診の受診率は横ばい傾向です。



（資料　健康課保健事業実施報告）

（２）　課題のまとめ

今回の評価では、目標を達成できた項目が2項目でした。成人の歯科健診などの受診率が高く、歯間清掃用具を使用する人も増加しており、歯の健康に関する意識が高まってきています。

歯を失う原因となる歯周病は、40歳～70歳代にかけて急増します。歯周病は、不規則な食生活や喫煙、精神的ストレスなどで悪化します。高血圧や糖尿病などの生活習慣病発症の前に歯周

病が発症しているという報告もあります。また、歯の喪失や口腔機能の低下は、低栄養や、体力・気力の低下につながり、認知症やフレイルの要因のひとつになります。

生活習慣病やフレイル予防のために、今後も継続的に歯と口腔の健康について取り組む必要があります。

（３）　今後の対策

現在実施している事業の継続に加え、次の重点目標について対策を強化していきます。

高齢者については、フレイル予防のための口腔機能の向上に努めます。

①　重点目標

- 定期的に口腔内のチェックを受けることを推進します。
- 歯間清掃用具を使用する人を増やします。

②　一人ひとりが心掛けること

- 食後には歯を磨くよう心掛けます。
- 丁寧に時間をかけてブラッシングをします。
- 歯間清掃用具を使用して口の中を清潔にします。
- 甘いお菓子やジュースは控え、間食は時間を決めて食べます。
- 小学校低学年までは家族が仕上げ磨きをします。
- 定期的に歯の健診を受けます。

③　職場や地域での取組

- 小さな子どもに甘いお菓子やジュースを与えるのを控えます。
- 地域の歯科医療機関がむし歯や歯周病予防の啓発を行います。
- 地域の団体等が歯と口の健康づくりを普及します。

④　地区別の目標

- 歯の健康に関する知識を広めます。　　黒田庄地区

⑤　行政のライフステージ別取組

- **成長期（０～19歳）**

施　　策
乳幼児健診等において、歯の健診と保護者に口腔の清掃方法や間食等の与え方などについて啓発します。

・歯と口の健康に関する啓発をします。 ・かかりつけ歯科医院を決め、定期的に口腔内のチェックを受けることを勧めます。 ・子どもの歯科健診や健康相談、健康教育を実施し、むし歯予防の正しい知識を普及します。 ・認定こども園や学校等と連携し、子どものむし歯予防のための取組を支援します。		
事　業　名	方　　針	担　当　課
幼児健診（１歳６か月児歯科健診、３歳児歯科健診）	継続	健康課
学校・園での歯科健康診査	継続	学校・園
学校・園での歯の健康教育	継続	学校・園
１０か月児歯科相談	継続	健康課

- **青壮中年期（20歳～64歳）**

施　　策		
妊婦や３歳児の保護者等若い世代を対象に歯科健診を実施し、口腔ケアについて啓発します。また、歯周病検診を実施して歯周病予防に取り組みます。 ・歯と口の健康に関する啓発をします。 ・かかりつけ歯科医院を決め、定期的に口腔内のチェックを受けることを勧めます。 ・生活習慣病やフレイルと歯と口腔の健康の関係について啓発します。 ・歯周病予防について情報提供します。 ・80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とする「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進します。 ・関係機関が実施する在宅要介護者、障害者等への歯科保健サービスなどに協力します。		
事　業　名	方　　針	担　当　課
妊婦歯科健診	継続	健康課
３歳児保護者歯科健診	継続	健康課
歯周病検診	継続	健康課
歯科訪問指導	継続	健康課

- **高齢期（65歳以上）**

施　　策
高齢者歯科口腔健診受診者に、嚥下機能等の検査を行い、口腔機能の向上に努めます。 介護予防いきいきサロンやおりひめ体操自主グループなどに、歯科医師や歯科衛生士による口腔ケアや嚥下体操などを実施します。 ・歯と口の健康に関する啓発をします。 ・かかりつけ歯科医院を決め、定期的に口腔内のチェックを受けることを勧めます。

・歯と口腔の健康が生活習慣病やフレイルに関係することを啓発します。 ・歯周病予防について情報提供します。 ・80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とする「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進します。 ・関係機関が実施する在宅要介護者、障害者等への歯科保健サービスなどに協力します。		
事　業　名	方　　針	担　当　課
高齢者歯科口腔健診	継続	保険医療課
萩ヶ瀬会館サロン	継続	健康課
介護予防いきいきサロン	継続	健康課
おりひめ体操	継続	健康課
高齢者生きがい健康づくり推進事業	拡充	健康課

（４）　今後の目標指標

過去１年間に歯科健診を受けた人の割合及び、むし歯のある３歳児の割合の目標値を見直し、かかりつけ歯科医院を決めている人の割合の項目を追加しました。目標値は、兵庫県健康づくり推進実施計画の目標値としています。

（%）

推進目標項目	現状値	目標値
過去１年間に歯科健診を受診した人の割合◆	47.3	65.0
かかりつけ歯科医院を決めている人の割合◆	79.6	84.0
歯間清掃用具を使用する人の割合◆	48.0	50.0
むし歯のない３歳児の割合	88.5	90.0
歯周病検診の受診率	11.3	20.0

※「◆」は市民アンケート調査の結果による数値